



法人企業景気予測調査

(令和8年4-6月期調査)

(岐阜県の概要)

令和8年6月11日

財務省東海財務局
岐阜財務事務所

【調査の概要】

1. 調査対象：岐阜県に本社を置く資本金1千万円以上の法人企業
2. 調査時点：令和8年5月15日
3. 調査方法：郵送及びオンライン調査
4. 調査対象期間

判断調査	現 状	見 通 し	見 通 し
	令和8年4～6月 (又は6月末)	令和8年7～9月 (又は9月末)	令和8年10～12月 (又は12月末)

(注) 前期比で季節的変動がある場合には、季節的要因を除いた実勢で判断。

計数調査	令和7年度 (実績)	令和8年度 (実績見込み)
	令和7年4月～令和8年3月	令和8年4月～令和9年3月

5. 回収状況：調査対象企業数は164社で、このうち141社から調査票を回収した。
(回収率86.0%)

	全規模	大企業	中堅企業	中小企業
全産業	141	33	27	81
製造業	58	10	15	33
非製造業	83	23	12	48

(注) 企業の規模別区分は、次のとおり。

大企業：資本金10億円以上の企業

中堅企業：資本金1億円以上10億円未満の企業

中小企業：資本金1千万円以上1億円未満の企業

6. その他：調査結果の文章中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称で、次の算式による計数である。

$$\frac{\text{増加 (上昇・不足気味) 企業数} - \text{減少 (下降・過剰気味) 企業数}}{\text{有効回答企業数}} \times 100$$

目 次

1. 景況判断	1
2. 雇 用	3
3. 企業収益	5
4. 設備投資	5
5. 今年度における設備投資のスタンス	6
6. 今年度における資金調達方法	7

1. 景況判断 — 全産業の現状判断は「下降」超

令和8年7-9月期は「上昇」超に転じる見通し

◆ 現状

- ・全産業では「下降」超となっている。

【規模別】

- ・大企業、中堅企業では「上昇」超となっている。
- ・中小企業では「下降」超となっている。

【業種別】

- ・いずれの業種においても「下降」超となっている。

◆ 見通し

- ・令和8年7-9月期は、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

景況判断BSI（原数値）

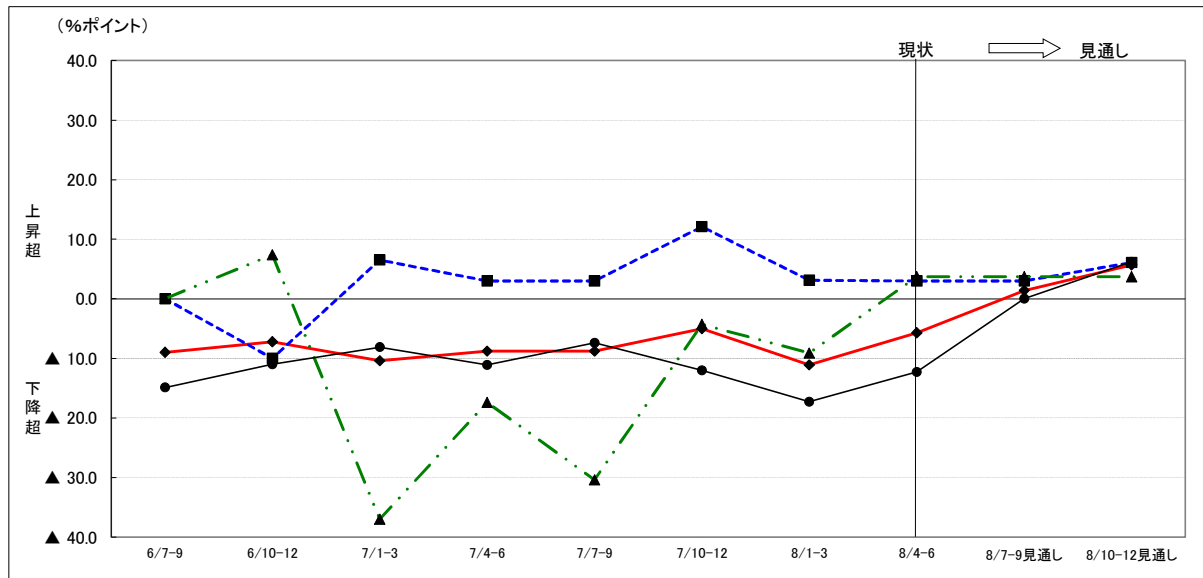
（『上昇』-『下降』回答企業数構成比：%ポイント）

区 分		前回調査	現 状	見 通 し	
		令和8年1-3月	令和8年4-6月	令和8年7-9月	令和8年10-12月
全 産 業		▲11.1	(▲0.7) ▲5.7	(3.7) 1.4	5.7
規 模 別	大 企 業	3.1	(▲3.1) 3.0	(9.4) 3.0	6.1
	中 堅 企 業	▲9.1	(4.5) 3.7	(4.5) 3.7	3.7
	中 小 企 業	▲17.3	(▲1.2) ▲12.3	(1.2) 0.0	6.2
業 種 別	製 造 業	▲18.0	(4.0) ▲12.1	(14.0) ▲3.4	5.2
	非 製 造 業	▲7.1	(▲3.5) ▲1.2	(▲2.4) 4.8	6.0

（注）1.（ ）書きは前回調査時の見通し。

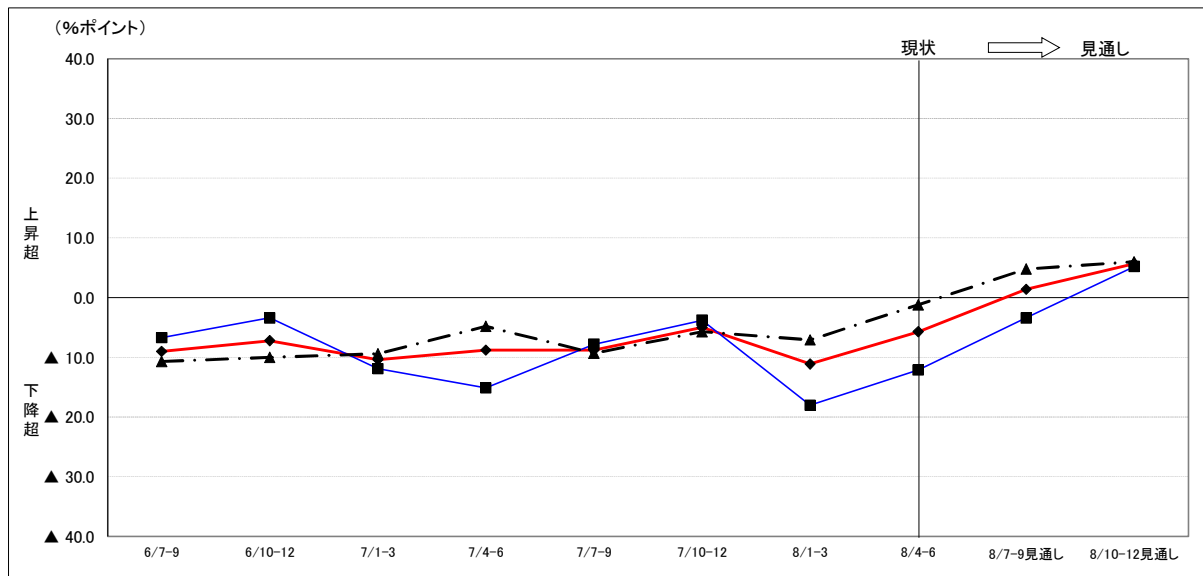
2. 回答社数 141社（うち製造業 58社、非製造業 83社）

【規模別景況判断BSIの推移(原数値)】



	6/7-9	6/10-12	7/1-3	7/4-6	7/7-9	7/10-12	8/1-3	8/4-6	8/7-9見通し	8/10-12見通し
◆— 全産業	▲ 9.0	▲ 7.2	▲ 10.4	▲ 8.8	▲ 8.8	▲ 5.0	▲ 11.1	▲ 5.7	1.4	5.7
■--- 大企業	0.0	▲ 10.0	6.5	3.0	3.0	12.1	3.1	3.0	3.0	6.1
▲-.- 中堅企業	0.0	7.4	▲ 37.0	▲ 17.4	▲ 30.4	▲ 4.3	▲ 9.1	3.7	3.7	3.7
●— 中小企業	▲ 14.9	▲ 11.0	▲ 8.1	▲ 11.1	▲ 7.4	▲ 12.0	▲ 17.3	▲ 12.3	0.0	6.2

【業種別景況判断BSIの推移(原数値)】



	6/7-9	6/10-12	7/1-3	7/4-6	7/7-9	7/10-12	8/1-3	8/4-6	8/7-9見通し	8/10-12見通し
◆— 全産業	▲ 9.0	▲ 7.2	▲ 10.4	▲ 8.8	▲ 8.8	▲ 5.0	▲ 11.1	▲ 5.7	1.4	5.7
■— 製造業	▲ 6.7	▲ 3.4	▲ 11.9	▲ 15.1	▲ 7.8	▲ 3.8	▲ 18.0	▲ 12.1	▲ 3.4	5.2
▲-.- 非製造業	▲ 10.7	▲ 10.0	▲ 9.4	▲ 4.8	▲ 9.3	▲ 5.7	▲ 7.1	▲ 1.2	4.8	6.0

2. 雇用 — 全産業は「不足気味」超

◆ 現状

・全産業では「不足気味」超幅が拡大している。

【規模別】

・大企業、中小企業では「不足気味」超幅が拡大している。

・中堅企業では「不足気味」超幅が縮小している。

【業種別】

・製造業では「不足気味」超幅が拡大している。

・非製造業では「不足気味」超幅が縮小している。

◆ 見通し

・令和8年9月末は、全産業では「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

従業員数判断BSI（原数値）

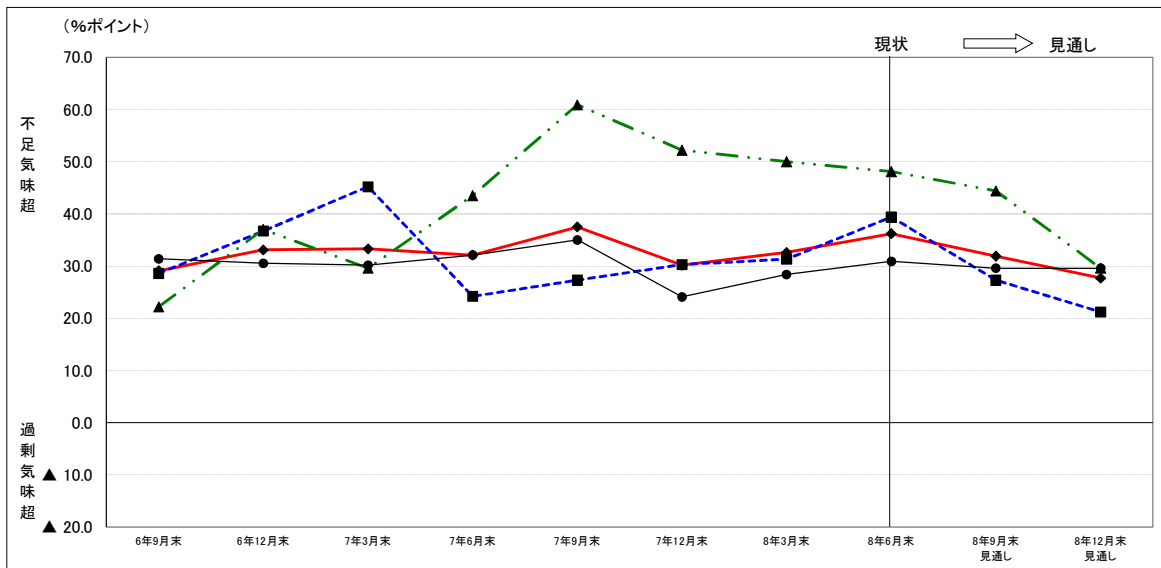
（『不足気味』－『過剰気味』回答企業数構成比：%ポイント）

区 分		前回調査	現 状	見 通 し	
		令和8年3月末	令和8年6月末	令和8年9月末	令和8年12月末
全 産 業		32.6	(27.4) 36.2	(27.4) 31.9	27.7
規 模 別	大 企 業	31.3	(21.9) 39.4	(18.8) 27.3	21.2
	中 堅 企 業	50.0	(50.0) 48.1	(45.5) 44.4	29.6
	中 小 企 業	28.4	(23.5) 30.9	(25.9) 29.6	29.6
業 種 別	製 造 業	20.0	(20.0) 41.4	(20.0) 34.5	27.6
	非 製 造 業	40.0	(31.8) 32.5	(31.8) 30.1	27.7

（注）1.（ ）書きは前回調査時の見通し。

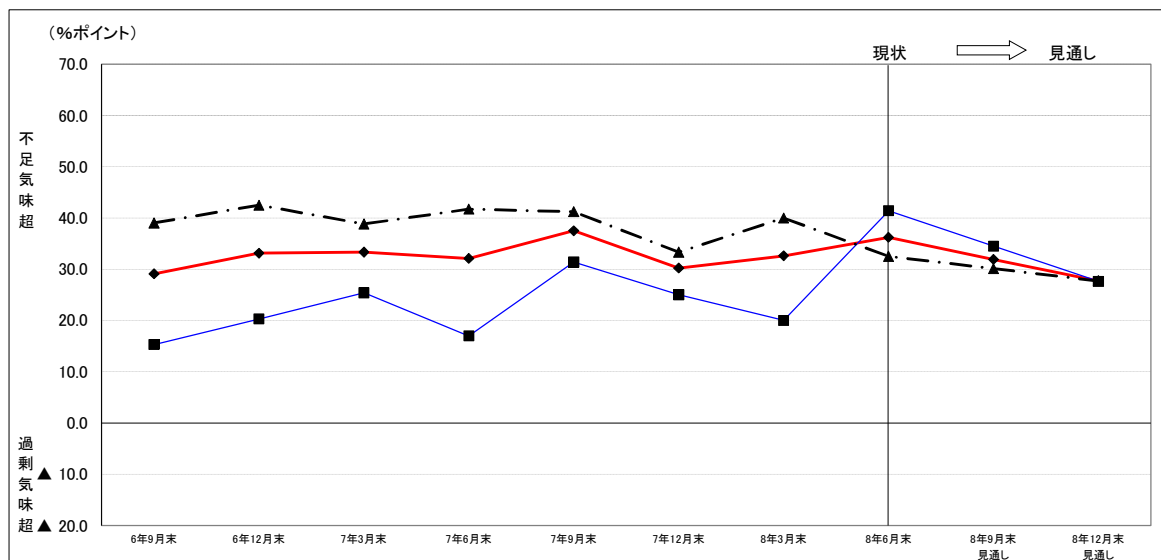
2. 回答社数 141 社（うち製造業 58 社、非製造業 83 社）

【規模別従業員数判断BSIの推移(原数値)】



	6年9月末	6年12月末	7年3月末	7年6月末	7年9月末	7年12月末	8年3月末	8年6月末	8年9月末見通し	8年12月末見通し
◆— 全産業	29.1	33.1	33.3	32.1	37.5	30.2	32.6	36.2	31.9	27.7
■-- 大企業	28.6	36.7	45.2	24.2	27.3	30.3	31.3	39.4	27.3	21.2
▲-▲ 中堅企業	22.2	37.0	29.6	43.5	60.9	52.2	50.0	48.1	44.4	29.6
●— 中小企業	31.4	30.5	30.2	32.1	35.0	24.1	28.4	30.9	29.6	29.6

【業種別従業員数判断BSIの推移(原数値)】



	6年9月末	6年12月末	7年3月末	7年6月末	7年9月末	7年12月末	8年3月末	8年6月末	8年9月末見通し	8年12月末見通し
◆— 全産業	29.1	33.1	33.3	32.1	37.5	30.2	32.6	36.2	31.9	27.7
■— 製造業	15.3	20.3	25.4	17.0	31.4	25.0	20.0	41.4	34.5	27.6
▲-▲ 非製造業	39.0	42.5	38.8	41.7	41.2	33.3	40.0	32.5	30.1	27.7

3. 企業収益 — 令和8年度は増収・増益見込み

◆ 売上高（「電気・ガス・水道業」を除く）

- ・令和8年度は、全産業では10.3%の増収見込みとなっている。
- ・規模別にみると、大企業、中小企業では増収見込み、中堅企業では減収見込みとなっている。
- ・業種別にみると、いずれの業種においても増収見込みとなっている。

◆ 経常利益（「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く）

- ・令和8年度は、全産業では13.9%の増益見込みとなっている。
- ・規模別にみると、大企業では増益見込み、中堅企業、中小企業では減益見込みとなっている。
- ・業種別にみると、いずれの業種においても増益見込みとなっている。

（前年度比増減率、単位：％）

令和8年度 見込み	全産業	規模別			業種別	
		大企業	中堅企業	中小企業	製造業	非製造業
売上高	10.3	11.4	▲3.5	7.0	16.0	7.3
経常利益	13.9	17.0	▲18.9	▲9.6	21.4	2.3

（注）1. 売上高は、「金融、保険」については調査対象外。「電気・ガス・水道」を除く。

2. 売上高 回答社数 98社（うち製造業 42社、非製造業 56社）

3. 経常利益は、「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く。

4. 経常利益 回答社数 96社（うち製造業 41社、非製造業 55社）

4. 設備投資 — 令和8年度は増加見込み

◆ 設備投資額

- ・令和8年度は、全産業では53.5%の増加見込みとなっている。
- ・規模別にみると、大企業では増加見込み、中堅企業、中小企業では減少見込みとなっている。
- ・業種別にみると、いずれの業種においても増加見込みとなっている。

（前年度比増減率、単位：％）

令和8年度 見込み	全産業	規模別			業種別	
		大企業	中堅企業	中小企業	製造業	非製造業
設備投資	53.5	57.9	▲10.4	▲37.1	71.5	5.3

（注）1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. 回答社数 108社（うち製造業 42社、非製造業 66社）

5. 今年度における設備投資のスタンス

全産業では「維持更新」をあげる企業が多く、次いで「省力化合理化」をあげる企業が多い。

- ・規模別にみると、大企業、中堅企業では「維持更新」を、中小企業では「省力化合理化」をあげる企業が多い。
- ・業種別にみると、製造業では「省力化合理化」を、非製造業では「維持更新」をあげる企業が多い。

(回答社数構成比：%)

順位 区分		1 位		2 位		3 位	
			構成比		構成比		構成比
全産業		維持更新	57.7	省力化合理化	56.1	情報化への対応	43.9
規模別	大企業	維持更新	68.8	省力化合理化	56.3	情報化への対応	46.9
	中堅企業	維持更新	72.0	省力化合理化	56.0	生産（販売）能力の拡大	44.0
	中小企業	省力化合理化	56.1	情報化への対応		47.0	維持更新
業種別	製造業	省力化合理化	60.7	維持更新	55.4	生産（販売）能力の拡大	53.6
	非製造業	維持更新	59.7	情報化への対応	53.7	省力化合理化	52.2

(注) 1. 以下の選択項目中3項目以内の複数回答による会社数構成比。

2. 回答社数 123 社（うち製造業 56 社、非製造業 67 社）

《選択項目》

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 生産（販売）能力の拡大 | 6 海外投資 |
| 2 製（商）品・サービスの質的向上 | 7 研究開発 |
| 3 情報化への対応 | 8 新事業への進出 |
| 4 省力化合理化 | 9 維持更新 |
| 5 環境対策 | 10 その他 |

6. 今年度における資金調達方法

全産業では「民間金融機関」をあげる企業が多く、次いで「内部資金」をあげる企業が多い。

- ・規模別にみると、大企業、中小企業では「民間金融機関」をあげる企業が多く、中堅企業では「民間金融機関」と「内部資金」をあげる企業が多い。
- ・業種別にみると、いずれの業種においても「民間金融機関」をあげる企業が多い。

(回答社数構成比：%)

順位 区分		1 位		2 位		3 位	
			構成比		構成比		構成比
全産業		民間金融機関	72.6	内部資金	62.4	公的機関	29.9
規模別	大企業	民間金融機関	69.6	内部資金	60.9	公的機関	30.4
	中堅企業	民間金融機関		69.6	公的機関	17.4	
		内部資金		69.6	その他	17.4	
中小企業	民間金融機関	74.6	内部資金	60.6	公的機関	33.8	
業種別	製造業	民間金融機関	69.6	内部資金	62.5	公的機関	28.6
	非製造業	民間金融機関	75.4	内部資金	62.3	公的機関	31.1

- (注) 1. 以下の選択項目中3項目以内の複数回答による会社数構成比。
 2. 「金融、保険」については、調査対象外。
 3. 回答社数 117 社 (うち製造業 56 社、非製造業 61 社)

《 選択項目 》

- | | |
|----------|--------------|
| 1 民間金融機関 | 6 企業間信用 |
| 2 公的機関 | 7 資産の売却 |
| 3 株式の発行 | 8 資産の流動化・証券化 |
| 4 社債の発行 | 9 内部資金 |
| 5 リース | 10 その他 |

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058) 247 - 4112

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>